

平成 29 年度第 4 回伊勢市総合計画審議会 議事要録

◆日時 平成 29 年 12 月 4 日（月）19：00～20：20

◆会場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4 階 大会議室

◆出席委員

山本 誠委員、森 裕美委員、美濃 松謙委員、竜田 和代委員、池田ミチ子委員、
山本 康史委員、酒徳 雅明委員、西村 幸泰委員、浅野 聡委員、三村 和也委員、
新田 均委員、重松 玲委員

◆欠席委員

永井 正高委員、岩崎 良文委員、西村 純一委員、

◆出席職員

情報戦略局【情報戦略局長、情報戦略局参事、同企画調整課課長補佐、同課主査 2 名】

環境生活部【環境生活部長、環境生活部参事】

教育委員会【教育事務部長】

健康福祉部【健康福祉部長】

危機管理部【危機管理部長】

産業観光部【産業観光部長】

都市整備部【都市整備部長】

総 務 部【総務部長】

◆内容

(1) 前回の振り返り

(2) 今後のスケジュールについて 資料 1

(3) 基本構想（修正案）について 資料 2-1、2-2

◇会議録（要録）

以下の要録は、事務局により要旨を編集したものです。微妙なニュアンス等が表現されておきませんので、ご了承ください。

○今後のスケジュールについて

・台風 21 号に係る事務により、全庁的に計画策定作業に取り掛かれなかったため、総合計画策定のスケジュールを【資料 2-1】のとおり変更したい。

→了承

○基本構想（修正案）について

- ・【資料 2-2、P15】まちづくりの基本理念の位置付けがよく分からない。内容は良いと思うが、序論的な要素と基本理念が混在しているので整理が必要ではないか。
→「そして、基本理念は、次の3つの視点から構成します」の部分を修正し、位置付けを明確にする。

- ・【資料 2-2、P12】伊勢市は集約型都市構造、コンパクトシティを目指していくのか。
→拡散すると行政コストが増えるほか、つなぐことも難しくなってくるので、成功している例が少ないが、方向として緩やかな誘導を行い、集約型都市構造を目指していく。

- ・【資料 2-1 関係】構成の順を見ると、基本構想の「まちづくりの基本理念」はまちづくりの主要課題を解決するための理念にあたるものか。それとも現在の状況と捉えたものと認識してよいか。
→まちづくりの基本理念は、全てのまちのことに通じる概念的なものと考えている。具体的な個々の課題に対しては、基本構想を達成するための、基本計画（施策）で具体的に組み込んでいく。

- ・【資料 2-2、P10】ワークショップからの意見として「昔からの伊勢のまちの姿」や「人口構造の変化に対応したまち」の望む声があったが、両方兼ね備えたまちづくりをすすめてほしい。

- ・【資料 2-2、P2】「4 伊勢市の特性」の記載を見ると全くそのとおりであるが、歴史的、観光的な部分だけである。あまり詳細まで書く必要も無いが、4つの市町村が合併してまちができたとか、大まかな伊勢市の産業とか書かれてはどうか。伊勢市の特性として、いろいろ書くことがあると思う。
→基本構想などの「まちの“誇り”」につながる部分として記載したが、成り立ちといった沿革や、誇りの中には豊かな自然環境等もあると思われるので、少し厚みをもって記載する。

- ・【資料 2-2、P13】「自助」、「共助」、「公助」の記載があるが、市民と地域と公共機関しかないように書かれている。「公助」のなかには、企業ボランティアを担い手として含めたほうが良い。またハード、ソフト両面において、教育が非常に大事であり、子供たちを支えていく上での教育機関の存在は大きい。
また「自助」は個人だけでなく、家族も入る。共助の担い手としてまちづくり協議会も入ると思う。担い手が多様に関わってもらうように記載した方が良い。 →自助、共助の部分は、多様性を持たせるような記載に修正する。

- ・【資料 2-2、P2】伊勢市の特徴の部分で、あまりにも記載が不足している。もう少し長い歴史が積み重なっていいまちであることを加えるべき。
- ・【資料 2-2、P11】まちづくりの主要な課題について、視点として「有形無形の歴史文化的資産の活用と継承」、「地域産業の育成」の2点を追加してはいかがか。
→次回までに整理します。
- ・【資料 2-2、P15】①～③の「まちづくりの基本理念」については、生活する都市としては重要で、間違っていないと思うが、伊勢市なのに迫力が無い印象である。また、「まちの将来像」における「安らぎ」の表記と、まちづくりの基本理念の「安心」の表記を統一すべき。将来像に「つながりが誇りと安らぎを育む」を掲げることから、基本理念ではつながりの何が問題でどのように活性化させるかが説明してあって、基本計画に誇りと安らぎを育むことが書いてある方が良い。
- ・【資料 2-1、P3】人口ビジョンで掲げた目標より平成 27 年の実績値は 2600 人多い。行政も住民も努力した成果なのか、それとも何もしなくてもそうなったのか。この結果を検証していれば教えてほしい。もし分かれば、今後の取組みでもっと改善できるのではないかと。
→平成 27 年に策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」で合計特殊出生率や社会増減などに目標を置き、取り組んでいるが、1年1年検証し、取組を進めていく。
- ・【資料 2-2、P10】市民意識調査で「これからの発展の方向性」について 10 代の多くが「伝統文化を保全活用した歴史・文化のまち」を望んでいた。そのような意見も加えてほしい。
- ・先に意見のあった「まちの主要な課題」をその視点で増やすことは良いことである。ただ、基本計画の分野別計画の体系は、市の担当課別なので主要な課題に応じた計画になれば分かりやすいものになると思う。

○今後について

・次回の第 5 回会議は、12 月 19 日（火）を予定しており、今回の基本構想（案）を再度修正したものを審議いただきたい。

また、基本計画（案）を現在作成しているが、各所属より、委員の皆様のご意見をうかがわせていただくことがあると思うので、よろしくお願ひしたい。